

第15回日本食海外普及功労者表彰受賞者講演内容（ビデオレター）

末次 毅行

私はアメリカのワシントン州モーゼスレイク市に在住する末次毅行でございます。このたび栄えある賞をいただき、まことにありがとうございます。

1966年、パリに渡り、2年後には待望のアメリカの地を踏みました。1969年にはアメリカ横断をいたし、各地で日本食文化の講演とデモンストレーションをしまりました。

1976年、私は「薩摩レストラン」という店を経営いたしました。その10年後、デンバーで2店目をオープン、そして20年後はダウンタウン・シアトル・ウエスティン内にある「日光レストラン」を共同経営いたし、その後、第4店目はギグハーバーで「ビストロ薩摩」を経営、その折り、ノースウエスト、ユナイテッドエアライン2社の機内食を調理いたしまして、またアメリカンエアラインの和食部のコンサルタントも7年間させていただきました。

それから、2016年にアメリカ政府の直轄、コロンビア・ベイソン・ジャブコーポ、職業訓練所で、若い生徒を相手に日本料理を教えてまいりました。私のモットーとするのは「フード・ビハインド・カルチャー」、その国々には食文化があり、そして私の最高のモットーは料理の心、これを生徒に教えております。

それから、ビッグ・バンド・コミュニティ・カレッジというのが私の学校の隣にありますが、今年6月～8月にそこで農業研修生が昼・夜と2食を行いました。皆、生徒が一緒になって朝・夕づくり、現在に至っております。